

リーフレット・事例集（案）

外国にルーツをもつ児童生徒 受入れ・共生のための

はじめの一步

これまで、外国人児童生徒受入れの手引や、日本語教材等については、文部科学省や多くの自治体から、いくつも発行されている。そのため、今回のリーフレット・事例集については、「事例」にこだわり、愛知県内の先生方が実践している支援・指導内容を紹介することとした。リーフレット・事例集を通して、県内の取組を知ることは、外国人児童生徒を受け入れる先生方にとって「自分ができること」「自分がすべきこと」等をつかむヒントにつながると考える。

【工夫 1】 外国にルーツをもつ児童生徒や、その保護者、教員等が困難さを抱える事例を「受入れ準備」「編入・転入時の面談」「日本語指導・教科指導」「保護者との連携」「共生・アイデンティティー」の5つに分類し、精選した21例の取組事例を見開き6ページにまとめた。

（資料 1）

<p><b>P 1 受入れ準備</b></p> <p>事例 1 受入れ体制づくり 事例 2 担任の準備 事例 3 日本語指導担当の準備</p>	<p><b>P 2 編入・転入時の面談</b></p> <p>事例 4 面談で聞き取ること 事例 5 面談で伝えること</p>	<p><b>P 3 日本語指導・教科指導</b></p> <p>事例 6 日本語指導教室の運営 事例 7 日本語指導の内容 事例 8 教科の学習等での支援 事例 9 日本語学習の大切さ</p>
<p><b>P 4 日本語指導・教科指導</b></p> <p>事例 10 在籍学級での授業 事例 11 授業に参加するための支援 事例 12 学習意欲を向上させる支援 事例 13 特別支援教育</p>	<p><b>P 5 保護者との連携</b></p> <p>事例 14 家庭との連絡方法 事例 15 保護者の学校参加 事例 16 進路相談の進め方</p>	<p><b>P 6 共生・アイデンティティー</b></p> <p>事例 17 家庭内でのコミュニケーション 事例 18 悩み相談 事例 19 学級での関係づくり 事例 20 友達とのトラブル 事例 21 アイデンティティーを確立する</p>

【工夫 2】 教員が手に取りやすいよう、リーフレットの文章量を減らし、イラストを多く使用した。

（資料 2 - A）

【工夫 3】 外国人児童生徒の受入れ経験が少ない教員の質問を掲載することで、散在地区の学校で活用できるものとした。

（資料 2 - B）

【工夫 4】 質問に対する取組事例を簡潔に一文でまとめ、読みやすくした。

（資料 2 - C）

【工夫 5】 詳しく知りたい教員のために、リンクボタンと二次元コードで事例集にジャンプできるようにした。

（資料 2 - D）

【工夫 6】 「面談時 便利シート」の文書データをダウンロードできるようにした。

（資料 2 - E）

（資料 2） 面談 A

受入れ時の面談は、どのようなことに気を付ければよいですか？

**4 面談で聞き取ること** **B** 面談で伝えること

フィリピンより、小学校3年生に編入があります。児童はもちろん、保護者も全く日本語が話せません。受入れ時の面談では、何をどのように聞き取ることが大切ですか？

こんなことをやってみました  
聞き取りシート等を活用し、温かい雰囲気での面談を行いました。

11ページ

中国より、中学校2年生に編入があります。本人はもちろん、保護者も日本語が話せません。また、初めての日本の学校ということで、日本の中学校のことを全く知りません。面談では、何をどのように伝えればよいですか？

こんなことをやってみました  
画像や映像で学校の様子を伝えました。

12ページ

**面談時 便利シート** 【下記の文書データをダウンロードして活用してください。】

聞き取りシート	編入・転入時	日本語指導	保護者との連携	共生・アイデンティティー
11ページ	12ページ	13ページ	14ページ	15ページ

**「聞き取りシート」**  
面談時に聞き取る内容をまとめたシート  
【wordデータ(A4 1枚)】

**「転入・編入チェックリスト」**  
面談時に行うことのチェックリスト  
【wordデータ(A4 2枚)】

【工夫7】 事例集上段の「このような対応をしました」で、実際に行った支援・指導を具体的に紹介し、下段の「ポイント」で、取組事例を価値づけたり、整理したりすることで、教員が支援・指導を進めていくヒントとなる資料にした。

(資料3-A)

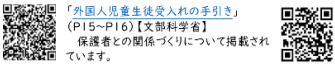
【工夫8】 「もっと知りたい」では、文部科学省や愛知教育大学等が作成した様々なコンテンツにつながるができるよう、リンクボタンと二次元コードを掲載した。

(資料3-B)

【工夫9】 リーフレットを多くの教員に活用してもらえるよう、様々な閲覧・印刷形式を準備した。

- ①Web版 (ハイパーリンク付きPDF)
- ②印刷版1 (全てのページA4 32頁)
- ③印刷版2 (リーフレットのみA3裏表2枚)

(資料3)

15 保護者の学校参加	【保護者との連携】
<p>中学校2年生のAさん(編入後1年経過・フィリピン国籍)は、すっかり日本の学校に慣れ、生き生きと生活しています。しかし、日曜日の授業参観や体育祭に保護者が参加してくれないため、寂しい思いをしています。</p> <p>保護者の方に学校行事等に参加してもらうためのどのような言葉かけが必要ですか?</p>	
<p><b>このような対応をしました</b> <b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>なぜ参加できないのか、文化的背景に目を向けました</b> フィリピンでは日曜日の午前中に家族で教会に行くため、午後からの行事であれば参加しやすいということを知りました。幸い、文化祭でAさんのクラスの合唱は午後からであったため、事前に午後の時間を伝えと、保護者の方が参加することができました。</li> <li>○ <b>保護者への参加を促すために、事前に説明を行いました</b> 年間行事等で事前に分かっている場合は、最初の面談の際に伝えるようにしました。特に海外にない行事(文化)の場合、行事の趣旨等の説明を行いました。保護者によっては、学校に行く習慣自体があまりない場合もあるので、通訳者を交えて長期休業中に保護者会を行い、必要な情報を事前に伝えました。</li> <li>○ <b>便りの工夫をしました</b> 1か月前には詳細な便りを渡すようにしました。その際、翻訳したものや、ルビ振りをしたものを渡すようにしました。学級通信等の場合は、生徒のがんばりが伝わるように写真を載せ、「〇〇祭まであと〇日」と日程が分かりやすいように明記しました。大切な便りには、便りの右上に「重要」と記したり、☆印をつけたりし、保護者の方に見てもらえるようにしました。</li> </ul>	
<p><b>保護者との連携を進めるポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>保護者の気持ちを尊重しました</b> 言語や文化が違う中での学校生活になります。日本の学校教育を主張するだけでなく、保護者の気持ちを十分に聴き取り、保護者が納得できるように話を進めました。</li> <li>○ <b>「伝わりやすさ」を意識して伝えました</b> 行事の1か月前には、詳細が伝わるように心がけました。翻訳、ルビ、通訳、やさしい日本語等、できるだけ保護者に伝わりやすい形で伝えることを大切にしました。</li> </ul>	
<p><b>もっと知りたい</b> <b>B</b></p> <p>「かすたねっど」 【文部科学省の情報検索サイト】 保護者へのお知らせに利用できる多言語対応の文書等が検索できます。</p> <p>「外国人児童生徒受入れの手引き」 (P15～P16)【文部科学省】 保護者との関係づくりについて掲載されています。</p> 	

本日の協議

リーフレット・事例集(案)は教員にとって活用しやすいものとなっているか。また、よりよくするための改善点はないか。